

○事業報告○

フットサル審判員強化研修会

中四国交流プログラム

F2 昇級試験 実技審査

フットサル・ビーチ部会
副部長・強化担当 小林泉紀



日時：2025年5月24日(土)～25日(日)

場所：電光石火みよしパーク アリーナ

参加審判員・インストラクター

【強化研修】松本和馬(島根県)、和田亮嗣(広島県)、田中慎哉(鳥取県)、田中智大(鳥取県)

【中四国交流】泉一樹(香川県)

【F2 昇級】大枝涼芽(岡山県)、岡本匡史(広島県)

【オブザーバー】脇田栄太(広島県)

【インストラクター】小林泉紀(鳥取県)

【2級昇級テスター】長谷川景(広島県)、角英利(島根県)、倉石一枝(岡山県)、城市亮祐(広島県)



今年度も全国選抜フットサル大会中国予選を使用しての研修となったが四国の日程と重なりお互いに審判員を派遣しての開催となった。強化研修では来年度の1級受験を目指す審判員及び将来の強化審判員を目指す者を参集した。初日の試合では大会への選手との熱量の乖離が大きく、ゲームや大会が求めている激しくてスピーディーな試合展開の一助となることができなかった。ご多忙の中来場してくださった前田委員長のお言葉や今年から国際審判員として活躍している脇田氏のレフェリング、初日試合終了後の映像研修で基準を高めることに努め、2日目は初日に比べてエキサイトなゲーム展開が多く繰り広げられた。しかし、エキサイトな展開になってくると今度は選手が熱くなっていく中でマネジメントをしていくことが困難になっていく場面が散見された。それぞれの審判員の課題が明確になった研修会となったので、引き続き開幕前研修やリーグ期間中に積極的・主体的にゲームに取り組んでいけるよう援助していきたい。

今年で3年目となった中四国交流は毎回お互いに良い刺激を与え合っており、隣の地域の仲間として、1級を目指すライバルとして切磋琢磨しあうことができた2日間となった。

2級昇級は2名が受験してくれ、これからの中国を担うS2のアカデミー生、広島県で長く活躍してくれているベテラン審判員と対照的な2名であった。レフェリング内容は非常にポジティブでこれからが楽しい内容であった。まだ筆記試験が残っているが是非頑張っていたきたいと心から感じた。

毎年恒例となりつつある3事業同時開催。年齢やカテゴリーも様々な審判員や四国との交流を通してインストラクターとしてもっと多種多様な伝え方や表現の方法を学んでいかなければならないことを感じた。レフェリーが望んだ場所へ到達できるよう多くのインストラクターを巻き込んで中国の大きな波を作れるよう引き続き努めたい。

